

臨床薬学英语 B

Clinical Pharmaceutical English B

医療科目 2年/後期 1単位 自由選択科目

科目責任者 石橋 賢一 (病態生理学教室)

■ 教育目的

アカデミック・ライティングを学び、英語で情報発信ができるようになるための基盤形成を行う。学会発表（オーラル、ポスター）、原著論文、総説、メタ解析などが日本語や英語でできるようになるのが目的。

■ 学習到達目標

1. 海外の学会での発表のあらましがわかる
2. 英語で論文を書くにはどうすればよいかわかる
3. 論文の統計やデータ処理が適切に行われているかが判断できる
4. EBM を実践するために必要な知識を持っている。
5. メールで自分なりの英語表現を用いて海外の研究者と意見交換することができる。

■ 準備学習（予習・復習）

復習：興味深い語句やコロケーションをノートにまとめる

■ 授業内容

”How to Write and Publish a Scientific Paper”Robert A. Day からの抜粋を中心に授業をすすめる。アカデミック・ライティングの実際の例をみる（ケーススタディ）だけでなく、テーマを決めて自分でも作ってみる演習も行う。添削を通じてアカデミック・ライティングのストラテジーを体得する。ネットの英語学習サイトの紹介を毎回行う。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	読む英語と聞く英語	ボキャブラリー対策。速聴のすすめ	
2	書く英語と話す英語	シャドーイングのすすめ。dictation のすすめ。アカデミック・ライティングとは	
3	Scientific Paper とは	構成と用語	
4	Title のつけ方	Syntax の重要性	
5	著者とは	Authorship とは	
6	Abstract の書き方	Economy of words	
7	Introduction の書き方	背景と目的。ムーブの考え方	
8	Methods の書き方	どこまで詳しく。引用の仕方	
9	Results の書き方	図と表も。時制の扱い方	
10	Discussion の書き方	Verbiage にならない。ムーブの活用	
11	Review のプロセス	editor との debate、rebuttle の仕方	
12	学会発表の仕方	オーラルかポスターか	
13	EBM と定式化した PICO	Evidence Based Medicine (EBM) の基礎。論文を 10 分で読む	
14	メタ解析	究極の統計。コクランライブラリー	
15	情報発信のための英語	TOEIC、TOEFL の英語、新聞の英語、メールの英語	

■ 授業分担者

石橋 賢一

■ 成績評価方法

出席・授業態度（30%）、期末試験（70%）で総合評価する。

■ 教科書

”How to Write and Publish a Scientific Paper”からの抜粋など

■ その他

自由選択科目で選択科目にカウントされないが、(医学論文の基礎を履修しておくことで) 海外研修コースや、病態生理学や薬物治療学の単位が取得しやすくなる。